

募集馬の手術歴等について

日本競走馬協会主催のセレクトセールでの公表事項である下記(1)～(8)の項目にならい、募集馬の出資募集開始前の手術歴等について、下表のとおりご案内いたします。

なお、該当する募集馬につきましても、厳しいチェックのうえ募集馬リストに名を連ねているものであり、他馬同様、順調に育成されていることを申し添えます。

※出資募集終了までの期間中に新たな該当事項が確認された場合は、順次公表いたします。

- (1)悪癖(さく癖、旋回癖、熊癖) (2)目の異常(白内障、黒内障、緑内障)、月盲 (3)上気道疾患に対する外科手術歴
(4)開腹手術歴 (5)骨折に起因する外科手術歴 (6)関節内骨関節疾患に対する外科手術歴
(7)腱及び靱帯(支持靱帯)の切断もしくは切除手術歴 (8)去勢

(2025年11月1日現在)

No.	募集馬	悪癖	手術歴(実施日:年/月/日)
G2	フォティノースの24		小腸絞扼により開腹手術(2024/7/20)
G8	リアリゾンルレーヴの24		右後膝OCD除去手術(2024/12/19) 両後球節骨片除去手術(2024/12/19)
G12	パラササルーの24		右飛節関節炎により関節洗浄(2024/11/2)
G13	ウィラビーオーサムの24		右飛節OCD除去手術(2025/1/22)
G17	リバースシンキングの24		右肘関節炎により関節洗浄(2024/11/12)
G18	アドラータの24	旋回癖	
G29	ワーキングプライドの24	旋回癖	左飛節OCD除去手術(2025/2/12)
G37	ミステリーエンジェルの24		腎脾間膜エンタラップメントにより開腹手術(2025/3/7、11)
G42	エモジの24		両後球節骨片除去手術(2025/1/8)
G47	ルフォールの24		左飛節OCD除去手術(2025/1/23) 両前球節OCD除去手術(2025/3/10)
G58	ボールドアテンプトの24	さく癖	
G62	セレナズヴォイスの24		左飛節OCD除去手術(2024/9/20)

【用語説明】

さく癖

上歯を馬栓棒や壁板などにあてて支点にし、頸に力を入れ、空気を飲み込む癖のことです。退屈あるいは他馬のまねが原因であり、消化管に多量の空気を飲み込むことから風気疝(腹部の疼痛を伴う疾病である疝痛の一種)へつながる場合もあります。

旋回癖

馬房の中でぐるぐる回る癖で、馬の行動異常の中でも常同行動と呼ばれるもののひとつです。常同行動というのは、一定の動作が繰り返し行われますが、目的や意味がはっきりしないため制御したり矯正したりするのは難しいとされています。ただ、旋回癖は特別な疾患に結びつくような性格はありません。

OCD

離断性軟骨骨症(Osteochondritis Dissecans)のことで、主に2歳以下の若駒に起こりやすく、関節(主に飛節、球節、後膝、肩)の軟骨から軟骨片が剥離し、炎症、関節液が増えることで関節の腫脹が起きる症状です。関節鏡手術による軟骨片摘出、増量した関節液を抜いた後にヒアルロン酸を注入するなどの処置により予後は良好で、早い段階で処置をすれば、術後も競走能力に影響を及ぼさないとされています。

※社台グループの各牧場では定期的に検査を実施しています。

関節炎(関節洗浄)

免疫力が低い若齢期に起こる関節内の細菌性感染のことで、関節液の増量と跛行の症状が見られます。細菌が入った関節内をきれいにするため、関節内をよく洗い抗生物質を注入する治療が実施されます。これによりスムーズに回復し、短期間で放牧を再開することができます。治療により回復した馬は後遺症を見せることもなく、また競走能力に影響を及ぼすことがないとされています。